

【新分野海外展開支援事業】 琉球朝日放送株式会社

企業
情報

- 琉球朝日放送株式会社
- 代表取締役社長 上里猛
- 住所 那覇市久茂地 2-3-1



■ ホームページアドレス <http://www.qab.co.jp/>

事業
概要

■ 海外展開のきっかけ

- ✓ 放送業界では、全国的な広告収入の減少から、新しいビジネスモデルの創出が求められている。一方沖縄では、外国人観光客の急増や、県内企業の海外展開など、他産業との連携による海外展開の可能性が高い外部環境があったため。

■ 事業概要（今回の事業内容）

- ✓ 台湾の放送局と連携し、自社の技術やリソース、ネットワークを生かして、新しいビジネスモデルを創出する。特に台湾の放送局と連携して、国を超えたスポンサーのあり方など、あたらしいマネタイズモデルを創出する。



初のTVBS訪問（台北市内 TVBS本社 2016年11月）

事業
成果など

■ 海外展開の成果（調査、プロモーションの内容等）

- ✓ 台湾の大手ケーブルテレビ局TVBSとMOUを締結。ドキュメンタリー番組の販売が決まったほか、現在は、新しい共同制作番組について、新しいマネタイズモデルの構築を図りながら、具体的な折衝を続けている。

■ 今後の計画

- ✓ 来期の夏を目標に共同制作番組の放送を目指す。コンテンツ制作だけでなく、国を超えた放送による、新しいマネタイズモデルの構築を確立する。放送による影響など、効果測定を定量的に行うことで事業拡大を目指す。



MOU締結式（台北市内 TVBS本社 2017年7月）

海外
展開について

■ 海外展開の魅力

- ✓ 自社の技術やリソースを生かして新しいマーケットに進出することにより、新しい市場を発見したり、可能性を見つけ出すことができる。ネットワークが広がることで、世界の多くの課題やニーズに触れることができ、そこで新しいビジネスモデルが模索できる。特に沖縄においては、海外との地理的文化的な近さから、本土企業より優位に展開することができる。

■ 感想（良かった点、苦労した点など）

- ✓ 良かった点は、実際に踏み出すことで、様々な可能性が次々と見えてきたこと。何度も折衝を重ねることで相手の課題やニーズが具体的に見えてきて、当初は難しいと思っていたことが可能になり、実際にビジネスになっていく感覚を社内全体で共有できるのは、充実感があった。社内的にも社外的にも新しい市場で新しいことに挑戦している姿勢は、多くの共感を呼ぶ効果があった。

■ 海外展開を検討している県内企業へのメッセージ

- ✓ 外国人観光客は今後も確実に増えると予想されています。こうした中、外貨を取り込むビジネスは拡大していくと見られています。例えば県内にいても、外貨を獲得する意味での「海外展開」は増えています。様々な意味でアジアや海外に近い沖縄にとっては千載一遇のチャンスであり、今や「日本経済再生のフロントランナー」とも言われています。こうしたチャンスをそれぞれの業界で、草の根から拾い上げ、新しいビジネスモデルを作っていきたいところです。

メ
ッセージ